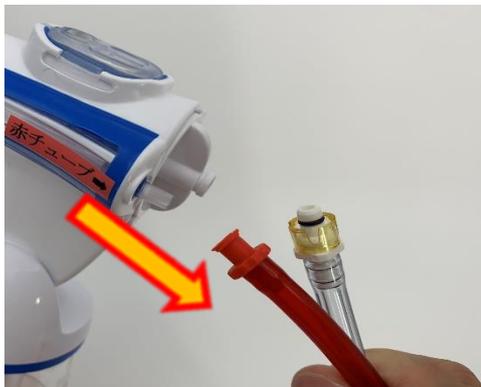


ファジロン5 分解・洗浄(1日の使用終了後に実施して下さい。)

①呼気ポートの蛇管(青色)、各連結チューブを回路からははずす。



②ハウジングとネブライザキャップをはずす。



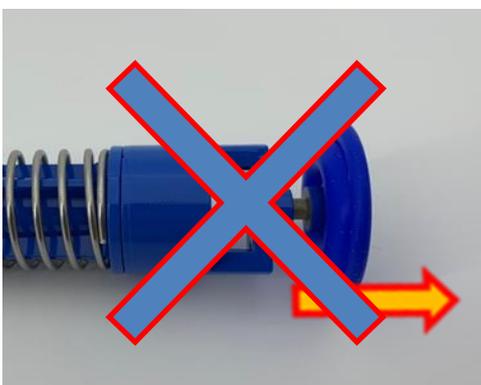
③ファジロンキャップをはずす。



④ベンチュリー管、スプリングをハウジングから出す。



注意: ダイヤフラムは、はずさない。



⑤ネブライザボウルをはずす。



⑥分解した回路を洗浄。(推奨はぬるま湯)



⑦よく濯いだ後、しっかり水切りし自然乾燥。
清潔な布で拭き清掃もOK。

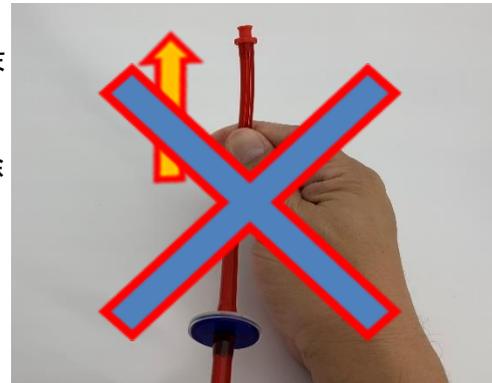
注意: 50℃以上の乾燥機は使用しないでください。



⑧連結チューブは、清潔な布で外装を拭き清掃。



注意: 赤チューブは、抜き取りできません。
連結チューブは、外装のみ拭き掃除してください。



ファジロン5 消毒(院内ルールを順守してください。最低1週間に1回以上実施。)

①分解した回路。

消毒用薬液(下記参照)に30分着け置き消毒。



②分解した回路を洗浄。消毒液を洗い流す(推奨はぬるま湯。)



③よく濯いだ後、しっかり水切りし自然乾燥。

清潔な布で拭き清掃もOK。



注意:50℃以上の乾燥機は使用しないでください。



④連結チューブは、清潔な布で外装を拭き清掃。



⑤消毒後は患者様ごとに清潔なビニール袋などで管理してください。



消毒用薬液について:

消毒用標準家庭用漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム 5~6%)を使用する場合。

漂白剤溶液 1 に対して 水 8 を混ぜます。

例として 漂白剤溶液 125mlの場合は 水 1,000ml(1L)になります。

漂白剤溶液 250mlの場合は 水 2,000ml(2L)になります。

※流通している次亜塩素酸ナトリウム液(原液)は、濃度5~6%または10~12%のものが一般的です。(弊社調べ) 使用時には、この原液を濃度を確認してから希釈してください。

希釈倍率が分かりづらい時は、使用する消毒液(次亜塩素酸ナトリウム)の用法・容量に記載がある

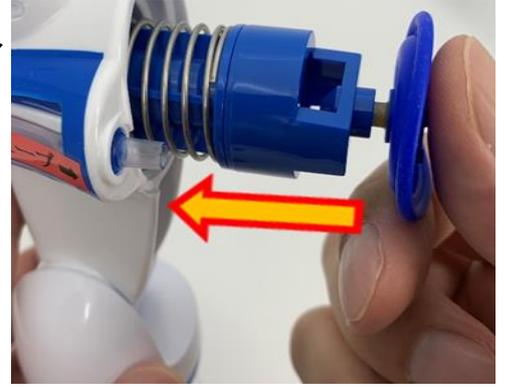
『器具等』の希釈倍率でご使用ください。

ファジトロン5 組立(洗浄・消毒後の組立)

①ベンチュリー管
へスプリングを通
す。



②ベンチュリー管
+スプリングをファ
ジトロンハウジン
グへ差し込む。



③キャップがロック
するとこまで回して
閉める。



④ネブライザ
キャップをネブライ
ザボウルへ接続。



⑤ファジトロンハウ
ジングとネブライ
ザの凹凸を合わせ
て合体させる。



⑥凹凸を合わせた
ら写真のように動
かし合体固定でき
ればOK。

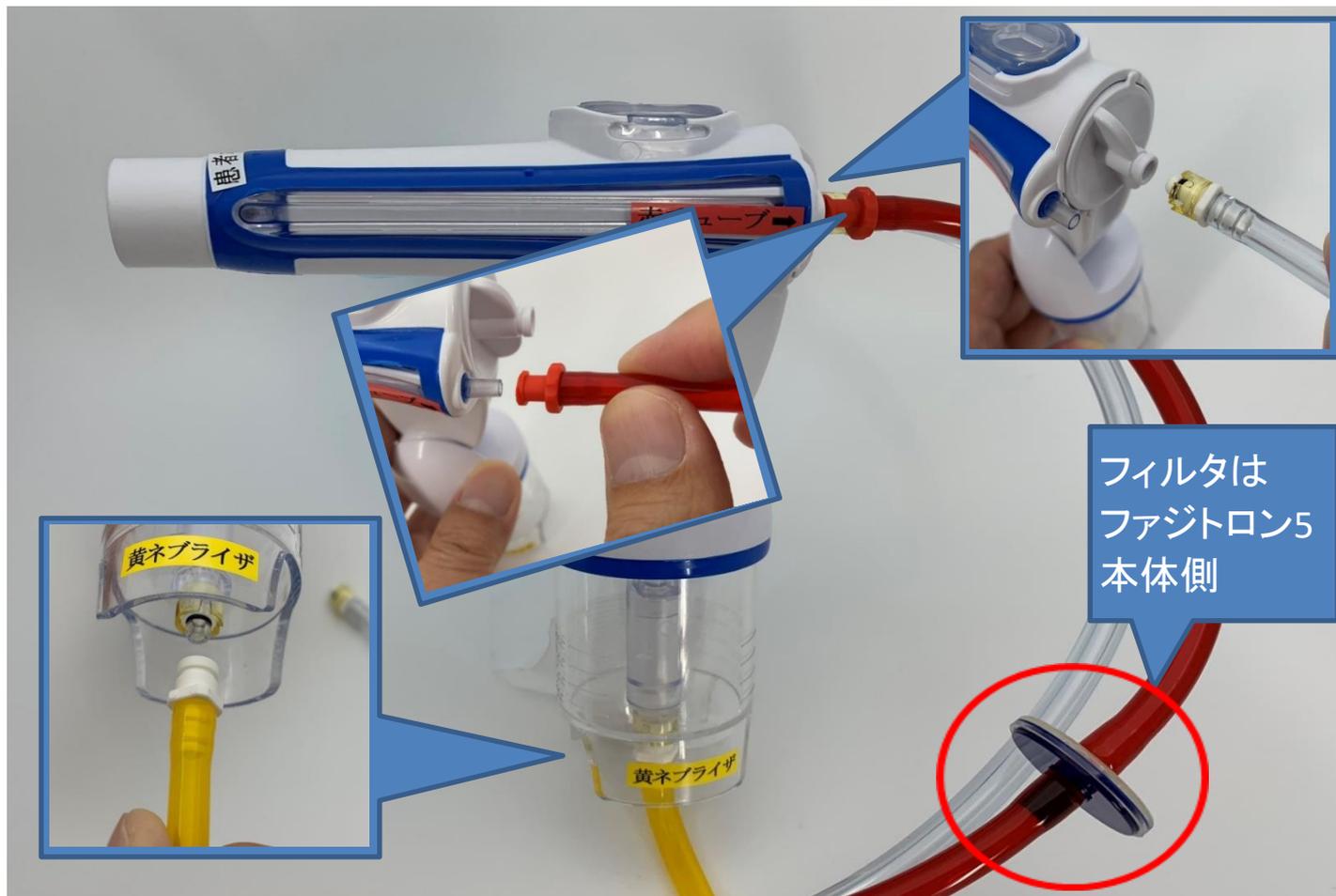


⑦呼気ポートに蛇
管を接続する。

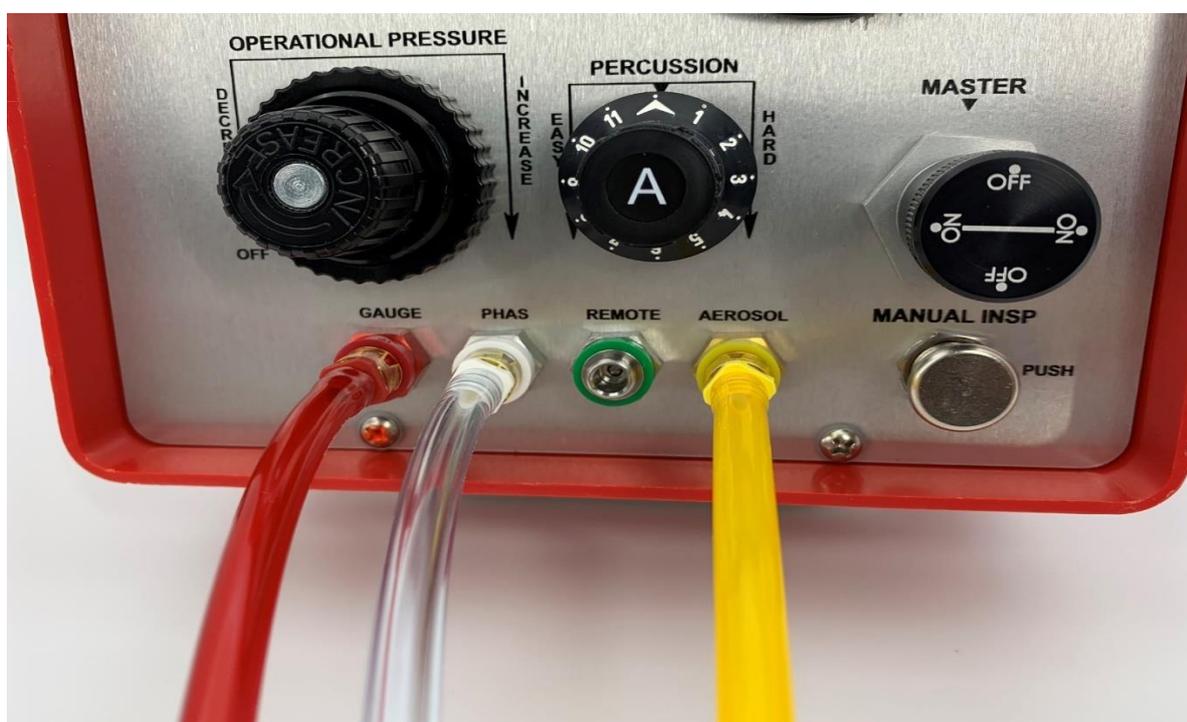


ファジトロン5本体へ連結チューブを接続する。

ファジトロン5側 連結チューブ接続箇所



IPV本体側 連結チューブ接続箇所(同色のソケットに連結チューブを接続)



※患者様使用前には、必ず動作確認(パーカッション発生の有無、ネブライザー発生の有無)をしてから治療を開始してください。